# 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月13日

上場会社名　ソマール株式会社　上場取引所　東
コード番号　8152　URL　http://www.somar.co.jp
代表者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)曽谷 太
問合せ先責任者 (役職名)F&A部長　(氏名)今井原 俊彦　TEL 03-3542-2152
四半期報告書提出予定日　平成24年8月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 6,141 | 2.3 | △176 | — | △170 | — | △232 | — |
| 24年3月期第1四半期 | 6,003 | △14.7 | △19 | — | △20 | — | △19 | — |

(注)包括利益　25年3月期第1四半期　△103百万円 (—%)　24年3月期第1四半期　37百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第1四半期 | △11.98 | — |
| 24年3月期第1四半期 | △0.98 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第1四半期 | 26,609 | 13,416 | 50.4 |
| 24年3月期 | 26,253 | 13,618 | 51.9 |

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　13,416百万円　24年3月期　13,618百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |
| 25年3月期 | — | | | | |
| 25年3月期(予想) | | 5.00 | — | 5.00 | 10.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,860 | △1.3 | △540 | — | △560 | — | △560 | — | △28.79 |
| 通期 | 24,140 | 2.9 | △870 | — | △910 | — | △920 | — | △47.31 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年3月期1Q | 19,587,349 株 | 24年3月期 | 19,587,349 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年3月期1Q | 139,518 株 | 24年3月期 | 138,933 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 25年3月期1Q | 19,447,946 株 | 24年3月期1Q | 19,452,355 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次


１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8
（６）重要な後発事象 …… 9

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に持ち直しの動きが見られましたが、欧州での財政問題の長期化や中国をはじめとする新興国での景気減速の兆候、更には、長引く円高の影響などで、依然として厳しい状況が続きました。

こうした状況下、当社グループでは、顧客における震災やタイでの洪水からの生産活動再開に合わせた適切な対応と新興するアジア地域を主体としたグローバルな顧客への積極的な販売活動を展開すると共に、グループ全体での生産の効率化や新規製品の開発に努めてまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高が61億4千1百万円（前年同四半期比2.3％増）となりました。利益面では、製造子会社ソマテック株式会社における初期投資の影響もあって、営業損失が1億7千6百万円（前年同四半期は営業損失1千9百万円）、経常損失が1億7千万円（前年同四半期は経常損失2千万円）、四半期純損失が2億3千2百万円（前年同四半期は四半期純損失1千9百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

［高機能材料事業］

高機能材料事業は、電子部品や自動車部品などの関係業界で、震災やタイでの洪水被害から生産活動が立ち直りをみせたことを受けて、関連する製品の販売がかなり回復しました。しかし、一方では顧客サイドで震災以降のリスク対策も考慮した事業環境変化も一部に生じてきたため、需要構造が変化し、それに伴い販売商品で減収要因も発生しました。その結果、当事業全体の売上高は43億4千3百万円（前年同四半期比0.3％増）、営業損失は1億5千4百万円（前年同四半期は営業利益3千6百万円）となりました。

（主な製商品群の概況）

| 製商品群 | 概況（数値は前年同四半期との対比） |
|---|---|
| コーティング製品 | 電子・精密機器向け需要が震災やタイでの洪水被害による落込みから徐々に回復し、スマートフォン向け需要も堅調に推移して、3.0％の増収となりました。 |
| 高機能樹脂製品 | 特に自動車部品業界向け需要が震災等による落込みから回復し、海外生産拠点からの顧客への製品供給体制も整備が進んで、15.2％の増収となりました。 |
| 電子材料 | 電子機器向け需要はかなり回復をみせたものの、重電・自動車業界向け需要は震災後の需要構造変化もあって需要が落込み、1.9％の減収となりました。 |
| 機能性樹脂 | プリント基板や家電製品関連の樹脂需要が、エコポイント制度の打切りや震災以降の消費マインド停滞で需要が回復せず、9.9％の減収となりました。 |

［環境材料事業］

環境材料事業は、主要顧客の製紙業界で震災からの復旧・復興が進み需要が全体的に回復してきましたが、販売商品の一部においては販売先の生産終了で商品需要がなくなる減収要因もあったため、当四半期においては販売がかなり落込みました。その結果、当事業全体の売上高は13億7千7百万円（前年同四半期比4.9％減）、営業損失は7百万円（前年同四半期は営業損失4百万円）となりました。

（主な製商品群の概況）

| 製商品群 | 概況（数値は前年同四半期との対比） |
|---|---|
| ファインケミカルズ | 震災からの立ち直りによる需要回復と新たな需要開拓効果も加わったことで、28.7％の増収となりました。 |
| 製紙用化学品 | 全体的には需要が回復してきましたが、主要顧客への販売方法の変更や一部商品の販売終了という特殊要因もあって、11.1％の減収となりました。 |

［その他の事業］

その他の事業は、主体の食品材料において、引続く個人消費の低迷や円高基調による販売価格の値下げ圧力が続く中、顧客ニーズに応えるサービスの提供と拡販に努めました。当四半期では特に天然の増粘安定剤が供給タイトな状況下で市況が高騰したため、それに合わせた販売価格の値上げに努めました。また、保存食品向けや冷菓向けの食品材料も比較的堅調に販売に寄与しました。その結果、当事業全体の売上高は4億2千1百万円（前年同四半期比86.7％増）、営業利益は5千9百万円（前年同四半期比79.8％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は154億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千6百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が9千5百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が4億3千8百万円、たな卸資産が3億2千8百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は111億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が2億1千万円、機械装置及び運搬具が7千3百万円、建物及び構築物が6千1百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、266億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億5千6百万円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は72億3千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千2百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が6億円、賞与引当金が6千1百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が7億3千万円増加したことによるものであります。固定負債は59億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億1千4百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が6億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、131億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億5千7百万円増加いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は134億1千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定が2億1千8百万円増加したものの、利益剰余金が3億3千万円（2億3千2百万円の四半期純損失の計上、9千7百万円の剰余金の配当による減少）、その他有価証券評価差額金が7千9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.4％（前連結会計年度末は51.9％）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年５月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,033,003 | 4,938,003 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,634,055 | 8,072,355 |
| たな卸資産 | 1,758,242 | 2,086,984 |
| その他 | 376,377 | 398,846 |
| 貸倒引当金 | △7,980 | △6,310 |
| 流動資産合計 | 14,793,699 | 15,489,879 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,937,487 | 3,875,860 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,165,045 | 2,091,209 |
| 土地 | 1,774,103 | 1,786,480 |
| 建設仮勘定 | 10,301 | 26,081 |
| その他（純額） | 150,748 | 147,685 |
| 有形固定資産合計 | 8,037,687 | 7,927,317 |
| 無形固定資産 | 271,229 | 251,821 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,776,103 | 1,565,856 |
| その他 | 1,863,190 | 1,863,031 |
| 貸倒引当金 | △488,352 | △488,277 |
| 投資その他の資産合計 | 3,150,942 | 2,940,610 |
| 固定資産合計 | 11,459,859 | 11,119,749 |
| 資産合計 | 26,253,559 | 26,609,629 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,947,342 | 4,678,063 |
| 短期借入金 | 400,000 | 400,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,600,000 | 1,000,000 |
| 未払法人税等 | 20,969 | 11,172 |
| 賞与引当金 | 123,819 | 62,746 |
| その他 | 1,105,363 | 1,087,990 |
| 流動負債合計 | 7,197,494 | 7,239,972 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,000,000 | 5,600,000 |
| 退職給付引当金 | 227,509 | 208,309 |
| 役員退職慰労引当金 | 42,367 | 44,617 |
| 資産除去債務 | 63,338 | 63,468 |
| その他 | 104,835 | 36,576 |
| 固定負債合計 | 5,438,050 | 5,952,971 |
| 負債合計 | 12,635,545 | 13,192,944 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成24年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,115,224 | 5,115,224 |
| 資本剰余金 | 4,886,268 | 4,886,268 |
| 利益剰余金 | 3,988,494 | 3,658,323 |
| 自己株式 | △45,672 | △45,783 |
| 株主資本合計 | 13,944,314 | 13,614,032 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 139,796 | 60,199 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6,182 | △3,404 |
| 為替換算調整勘定 | △472,280 | △254,141 |
| その他の包括利益累計額合計 | △326,301 | △197,347 |
| 純資産合計 | 13,618,013 | 13,416,684 |
| 負債純資産合計 | 26,253,559 | 26,609,629 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,003,128 | 6,141,899 |
| 売上原価 | 5,341,835 | 5,398,301 |
| 売上総利益 | 661,293 | 743,597 |
| 販売費及び一般管理費 | 680,722 | 920,227 |
| 営業損失（△） | △19,428 | △176,630 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,086 | 3,486 |
| 受取配当金 | 15,541 | 14,527 |
| 為替差益 | － | 4,296 |
| その他 | 6,869 | 2,523 |
| 営業外収益合計 | 24,497 | 24,834 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16,036 | 14,562 |
| 債権売却損 | 1,285 | 1,269 |
| 為替差損 | 6,994 | － |
| その他 | 822 | 3,141 |
| 営業外費用合計 | 25,138 | 18,973 |
| 経常損失（△） | △20,069 | △170,768 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 620 | － |
| 固定資産除却損 | 4,788 | 149 |
| 投資有価証券評価損 | － | 60,246 |
| 特別損失合計 | 5,408 | 60,395 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △25,478 | △231,164 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 3,870 | 4,083 |
| 法人税等調整額 | △10,256 | △2,319 |
| 法人税等合計 | △6,386 | 1,764 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △19,092 | △232,929 |
| 四半期純損失（△） | △19,092 | △232,929 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成24年４月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △19,092 | △232,929 |
| その他の包括利益 | | |
| 　その他有価証券評価差額金 | △11,839 | △79,597 |
| 　繰延ヘッジ損益 | △1,101 | △9,587 |
| 　為替換算調整勘定 | 69,137 | 218,138 |
| 　その他の包括利益合計 | 56,196 | 128,953 |
| 四半期包括利益 | 37,104 | △103,975 |
| （内訳） | | |
| 　親会社株主に係る四半期包括利益 | 37,104 | △103,975 |
| 　少数株主に係る四半期包括利益 | － | － |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 高機能材料事業 | 環境材料事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,328,957 | 1,448,606 | 5,777,563 | 225,565 | 6,003,128 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 4,328,957 | 1,448,606 | 5,777,563 | 225,565 | 6,003,128 |
| セグメント利益又は損失（△） | 36,262 | △4,309 | 31,952 | 32,969 | 64,922 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 31,952 |
| 「その他」の区分の利益 | 32,969 |
| 全社費用（注） | △84,350 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失（△） | △19,428 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | その他（注） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 高機能材料事業 | 環境材料事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,343,183 | 1,377,589 | 5,720,773 | 421,126 | 6,141,899 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | － | － | － |
| 計 | 4,343,183 | 1,377,589 | 5,720,773 | 421,126 | 6,141,899 |
| セグメント利益又は損失（△） | △154,372 | △7,256 | △161,629 | 59,289 | △102,340 |

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | △161,629 |
| 「その他」の区分の利益 | 59,289 |
| 全社費用（注） | △74,289 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失（△） | △176,630 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。